

## 令和4年度（2022年度）根室圏域地域保健・職域保健連携推進連絡会

日時 令和5年（2023年）3月16日（木）16:30～17:30

Web（Zoom）開催

出席者 30名（内 事務局5名）別紙出席者一覧のとおり

- 議題
- 1 「協会けんぽの保健事業について～根室圏域の現状と課題～」
  - 2 釧路署管内の有所見率の現状について
  - 3 根室圏域の健康課題について（地域保健から）
  - 4 北海道の健康づくり推進事業の取組について
  - 5 地域・職域連携推進事業について

### 議事

#### （1）「協会けんぽの保健事業について～根室圏域の現状と課題～」（資料1）

全国健康保険協会北海道支部企画総務部企画グループ グループ長補佐 石垣 喜子 氏

- ・令和2年度（2020年度）の被保険者の特定健診受診率が例年より5ポイント低い状況。
- ・北海道全体受診率は全国的に低い状況となっており、特に被扶養者の受診率は47支部中最下位。
- ・北海道全体の被保険者40-74歳の検診結果から男女ともに肥満リスク、代謝リスク、脂質リスク、高血圧リスクが高く（すでに服薬含め）、生活習慣病のリスクが高い状況。
- また、喫煙者の割合が高く、特に女性については全国1位。
- ・問診結果から喫煙、飲酒、朝食を抜く習慣が平均より高く、逆に運動習慣、保健指導の希望が低い状況。
- ・協会けんぽ北海道支部では、将来的なヘルスリテラシーの向上を目標に次年度以降は若年層へのポピュレーションアプローチも展開予定。
- ・被保険者の健診結果を市町村別で北海道支部全体と比較すると40-74歳では、男女ともに肥満リスク、代謝リスク、血圧リスクが高く、脂質リスクは女性のほうが高い傾向であり、全般的に生活習慣病リスクは高い状況。
- また、喫煙習慣についても男女ともに多く、予備軍を含めたメタボ該当者が高い傾向。
- ・医療費は、北海道全体の傾向として、医科は入院の受診率及び医療費が高く、外来の受診率は低いが医療費が高い傾向。
- また、歯科についても、受診率は低い反面医療費が高いのが特徴。
- ・医科、歯科は重症化してから受診する傾向が高いため、医療にかかる習慣がない、医療アクセスの問題などが医療費に反映していると考えられる。
- ・根室圏域の特徴として、入院日数は長い医療費に反映していない、外来は医療費としては高くないが、1日当たり医療費が高いことから、医療アクセスの影響も考えられる。

#### （2）釧路署管内の有所見率の現状について（資料2）

釧路労働基準監督署第三方面主任監督官 田中 達徳 氏

- ・令和3年度の健康診断の有所見率は全業種で66.7%となっている。
- ・健康診断項目の有所見率全体は、全国58.7%、全道62.6%、釧路署管内66.7%と全国・全道より高い。
- ・喀痰と尿蛋白以外の項目で、全国・全道よりやや有所見率が高めとなっており、胸部X線では、全国で4.5%に対して、釧路署管内では8.5%と約1.9倍になっている。
- ・令和3年から直近10年の健康診断項目ごとの有所見率の推移見ると全体として年々有所見率が高まっている。

- ・職業別では、建設業のみ、直近 3 年で急激に率が伸びているが、他の業種も徐々に増加の傾向。
- (3) 根室圏域の健康課題について（地域保健から）（資料 3－1～6）
- ・事務局から資料説明（早坂主査（健康増進）：中標津保健所）。
- (4) 北海道の健康づくり推進事業の取組について（資料 4、5）
- ・事務局から資料説明（早坂主査（健康増進）：中標津保健所）。
- (5) 地域・職域連携推進事業について（資料 6）
- ・事務局から資料説明（早坂主査（健康増進）：中標津保健所）。
- (6) 要領改正（資料 7）
- ・事務局から資料説明（早坂主査（健康増進）：中標津保健所）～承認。
- (7) 意見交換
- ・地域・職域連携に係る意見等について、別途、文書にて依頼することとした。
- (8) 連絡事項
- ・北海道健康増進計画及び根室圏域健康づくり事業行動計画を見直す年であるため、協力願いたい。